



元交換学生との再会に喜びもひとしお

—園部ロータリークラブ創立25周年—



▲ホストファミリーとの再会に会話がはずみます

園部ロータリークラブが創立二十五周年を迎え、昨年十二月十三日、南丹市長（代理 仲村助役）ら来賓百二十人と会員らが集い、京都市のホテルで記念例会が行われました。園部ロータリークラブは創立まもなく国際交流の輪を広げようと、青少年交換事業を始められました。これまでにアメリカやヨーロッパ諸国などからの留学生十五人を受け入れ、地元の高校生十五人の派遣を行われました。この日は二十五周年を記念して、海外から元交換学生らもお祝いにかけつけ、当時のホストファミリーらと再会し思い出話に花を咲かせていました。

田理事長が「若さと想像力で、新しい社会を築いていきたい」とあいさつをされました。その後、「よりよい地域になるために求められる事とは」と題したパネルディスカッションでは、佐々木稔納市長らが地域の特徴を生かしたまちづくりの取り組みを紹介しました。



▲決意を述べられる八田理事長

平成十九年の

新年を祝う賀詞交換会

—新春賀詞交換会—

一月四日、南丹市国際交流会館イベントホールで、船井青年会議所主催の「第二十四回新春賀詞交換会」が、南丹市と京丹波町からおよそ二百人が参加して行われました。

式では、船井青年会議所八

青少年の健全育成に貢献

—京都府青少年健全

育成功労者等表彰—

京都府が青少年の健全育成に多大な功績のあった個人や団体を表彰する「平成十八年度京都府青少年健全育成功労者等表彰」で、南丹市美山町在住の下野良二さんが知事表彰を受けられ、昨年十二月二十五日、京都府公館において表彰式が行われました。

下野さんは、美山町大野地域で、公園の花壇づくりや清掃活動、自然体験学習を地元の子どもたちと展開している「緑の少年団」の団長として、地域の子どもたちの健全育成に貢献されました。



▲知事表彰を受けられた下野良二さん

株式会社「虎屋」は和菓子製造販売の大手企業として事業を展開されており、現在、京都市にある京都工場の機能を新工場へ移転し、西日本における拠点工場とされます。新工場は今年秋に完成する予定で「丹波大納言小豆」など地元の農産物を生かした商品作りが行われる予定です。

新工場建設の安全と

地域の発展を願う

—虎屋新工場起工式—

昨年十二月二十日、八木町北広瀬で建設が進められている虎屋新工場予定地で起工式が行われ、佐々木稔納市長や京都府職員、市職員ら関係者およそ三十人が出席しました。



▲工事の安全が祈願されました